

看護必要度管理21

入院基本料届出の添付資料の作成を支援するシステム

看護必要度管理21は、病院様の入院基本料を申請する届出に必要となる看護必要度評価の入力から集計までの管理・支援を目的として開発したWebベースのアプリケーションシステムです。

看護必要度管理21のハイライト

1、入院患者の看護必要度の管理は一元化できます

看護必要度21のご導入により入院患者の看護必要度評価の入力から集計するまでの管理は電子化され、担当者はスムーズに看護必要度管理を行い、日々の評価及び集計作業は一元化できます。

2、評価項目は自由に作成する事ができます

評価項目は自由に作成する事ができます。病院独自の評価項目や診療報酬改定時に評価項目とその評価内容を変更・追加できます。

3、Webベースで導入簡単

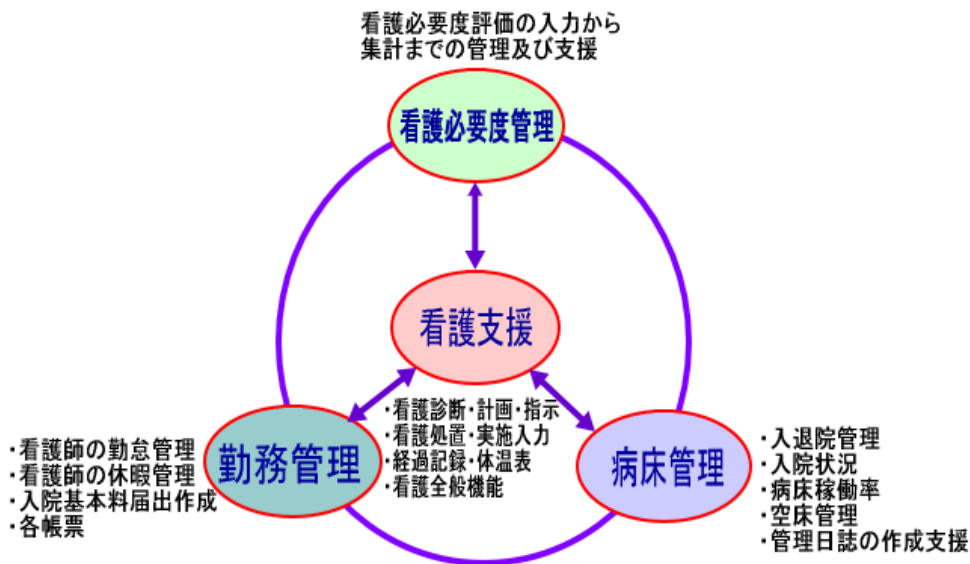
看護必要度管理21はLANやインターネット環境での情報交換・情報共有を視野に開発された管理システムです。手軽に導入でき、運用時の管理も簡単です。クライアントPCには専用アプリケーションやソフトウェアをインストールする必要はありません。Webブラウザのみで運用できます。

4、オープンソースを利用

JavaやPostgreSQLなどのオープンソースを利用して開発されたWebベースの看護必要度管理システムです。導入時に別途DBやアプリケーションサーバを購入する必要はありませんので導入費用は安く抑えられます。

5、ご利用できるクライアント数の制限

看護必要度管理21はサーバ1台にて稼働できます。Webベースアプリケーションのため、クライアントの接続数の制限はありません。院内の至るところからLANにアクセスさえすれば、簡単に接続できます。



WEB型の看護必要度 管理システム

- 1、Webベースのため、導入簡単
- 2、オープンソースの利用で費用節減
- 3、ご利用人数の制限はありません
- 4、セキュリティ充実により、安心使用できます
- 5、処理ログの記録により誤操作や情報改ざんが防げます

看護必要度管理21を導入する効果。。。

1、診療報酬改定への対応

看護必要度管理21のご導入により院内の看護必要度管理業務が電子化され、患者様の看護必要度管理の一元化、標準化及び効率化の実現ができ、診療報酬改定への対応も迅速に実現できます。看護必要度の評価加算の申請に役に立ちます。

2、看護必要度の評価入力及び集計作業の負担を軽減

看護必要度管理21の導入によって、看護必要度の評価入力や集計作業は院内の部門システムの一環として運用できます。担当者は手作業から解放し、負担が軽減され、看護必要度の評価管理は効率よく管理ができます。法改正があっても迅速に対応できます。

3、看護支援、病床管理及び勤務管理などの部門システムとの連携を実現

看護必要度管理21は院内既存の看護支援、病床管理及び勤務管理との連動を考慮して開発された管理システムです。これらの既存システムとの連動により入院患者情報管理、看護師配置算定及び入院基本料算定などの機能はより簡単にできます。

看護必要度管理21

特 徴

1、Webベースで導入簡単

看護必要度管理21はLANやインターネット環境での情報交換・情報共有を視野に開発された管理システムです。手軽に導入でき、運用時の管理も簡単です。クライアントPCには専用アプリケーションやソフトウェアをインストールする必要はありません。Webブラウザのみで運用できます。

2、オープンソースを利用

JavaやPostgreSQLなどのオープンソースを利用して開発されたWebベースの看護必要度管理システムです。導入時に別途DBやアプリケーションサーバを購入する必要はありませんので導入費用は安く抑えられます。

3、ご利用できるクライアント数の制限

看護必要度管理21はサーバ1台にて稼働できます。Webベースアプリケーションのため、クライアントの接続数の制限はございません。院内の至るところからLANにアクセスさえすれば、簡単に接続できます。(アクセス権限が必要)

4、iPadもご利用頂けます(病室まで無線LANがあれば)

- ・病室にて、iPadより入院患者の看護必要度レベルが確認できます。
- ・病室にて、iPadより処置した看護必要度A項目やB項目の結果を記入できます。

機 能

1、入院患者管理・集計

- ・入院患者情報入力、入院患者情報読み込み(CSV)
PS:弊社の病床管理21をご利用する場合、入院患者情報はそのまま取得できますので読み込み処理は必要ありません。
- ・患者情報EXPORT(CSV、EXCEL)
- ・患者情報検索

2、各マスタ情報管理

- ・病棟マスタ・病室マスタ(病床管理21との連動可能)
- ・看護師情報マスタ(勤務管理との連動可能)
- ・各評価マスタ

3、看護必要度の算定

各評価項目をクリックするだけで必要度を算定します。入力漏れ防止機能がついており入力がない場合は警告メッセージが表示されます。

4、評価項目作成・追加

評価項目は自由に作成することができます。病院独自の評価項目や診療報酬改定時に評価項目とその評価内容を変更・追加できます。

5、評価表作成・追加

評価表も作成・追加することができます。この評価表は病棟別に登録することが可能で病棟により配点内容を変更することができます。HCUやICU等の部署でも同じシステムを利用することができます。

6、病棟別看護度必要度管理

看護度は病棟別に集計することができます。評価点数から患者レベルを設定することが可能です。これにより、患者管理が行いやすくなります。また、看護師の配置管理にも有効です。

7、集計帳票

- ・看護必要度の評価表印刷(評価記入用)
- ・看護必要度評価結果(患者ごと)
- ・患者一覧帳票(病棟ごと)
- ・患者別評価一覧
- ・日別患者評価一覧
- ・病棟別の評価集計一覧(病棟ごと)
- ・評価レベル集計(病棟別、期間集計)
- ・評価得点集計(病棟別、期間集計)
- ・様式10の3の作成、PDF及びExcelファイル出力

8、他システムとの連動機能(オプション機能)

①弊社の病床管理システムとの連動

弊社の病床管理との連動により入院患者情報や各マスタ情報を病床管理からそのままご利用となります。

②医事会計システムとの連動

医事会計システムとの連動により看護必要度の統計結果を医事会計に渡し、患者の診療報酬計算がスムーズに出来ます。

9、診療報酬に用いられている次の4種類の看護必要度に対応します。

- ・「重症度に係る評価票」:ICU用、2002年度導入
- ・「重症度・看護必要度に係る評価票」:
ハイケアユニット用、2004年度導入
- ・「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」:
7対1及び10対1入院基本料用、2008年度導入
- ・「日常生活機能評価」:
回復期リハビリテーション病棟用、2008年度導入

注:2014年度診療報酬の改定＝看護必要度基準の見直し内容の対応

使用環境

- 1、H/W:PCサーバ(メモリ:8G以上)
- 2、O/S:Windowsサーバ2016以上、Linux
- 3、Tomcat 8.X以降
- 4、DataBase:PostgreSQL8.X以降、DB2 8.X以降
- 5、Java:JRE1.8以降、J2EE1.2以降

本製品に関する詳細情報は、下記にてお問合せ下さい。



開発元:株式会社ジー・アイ・エス

〒168-0062 東京都杉並区方南2-12-16 101室
TEL:03-3316-7227 FAX:03-3316-7228

代理店